

すずらん

題字 小川 東州

JAICO

第74号(通算114号)
2016年11月発行

- 産業カウンセラー養成講座終了
 - 第一回キャリアコンサルタント養成講習開講
 - 傾聴トレーニング開催
 - 会議議事録報告
 - 会員の声
 - 平成28年「働く人の電話相談室」実施報告
- 各部からのお知らせ ○ 行事等のお知らせ(会員研修)
○ 賛助会員企業様のメンタルヘルス対策をご紹介

聖ハリストス教会



産業カウンセラー養成講座終了

2016年度札幌教室が閉講しました

4月10日に18名の受講者をお迎えして開講した札幌教室は、10月30日に全カリキュラムを修了し閉講しました。

受講者さんにとって、お仕事や家庭の役割を持ちながら相当なご苦労があったようです。特に、ホームワークには追われるように感じていたことを、そっと打ち明けてくれました。苦労が多い養成講座受講ですが、終わってみると受講者同士の支え合いを実感できていたことの意味が大きかったようです。

いま職場ではコミュニケーションの希薄さに端を発する問題が発生していると申せましょう。受講者さんは一人の働く人として、これからの産業カウンセラー像を描くとき「誰かが話を聴いてくれる」「わかってくれる」「労いの言葉をかけてくれる」ことの尊さを実感したからこそ、今後は職場で身をもってカウンセリングのマインドを発信したいし、いずれ職場に働きやすい環境・雰囲気づくりに影響を与えられるという希望をもっておりました。さらに、北海道支部の活動に積極的に関わって勉強を続けたいという言葉も寄せられております。本当に頼もしいお一人お一人との出会いでした。

受講を終えた皆さんはこれから産業カウンセラー試験に臨まれます。健康に留意されて全員が産業カウンセラー資格を取得されることを期待しております。

札幌教室長 山村



2015年度通信講座札幌教室が閉講しました

10月9日、約1年にわたる通信教室の実習最終日。午前中は、自分自身のキャリアを語るセッションを行いました。カウンセラー役はこれまでに学んだ傾聴の態度をもってクライアント役の言葉に耳と心を傾け、クライアント役はその態度に支えられながら自分自身を見つめていました。共に学ぶ仲間の力を借りながら、それぞれの役割を通して「自己理解」を深めていくその様子は、実に感動的です。午後からは、これまでに培った自身の産業カウンセラー像と今後の意気込みを全員が発表。講座の中で得た学びを、各々がその人らしい言葉で語る姿は、とても力強く、頼もしいものでした。28名全員が無事に試験に合格し、産業カウンセラーの仲間となっただけだと信じています。

通信講座札幌教室長 内山

2016年度医療大学教室が閉講しました

今年4月、「社会人の経験もないのに“産業カウンセラー”を学ぶ意味があるの?」「コミュニケーションが苦手なのに、自分の話をする機会がこんなに多いとは…」等、戸惑いや不安を持った13名の学生さんと出会いから始まった医療大学教室。この教室は、北海道医療大学で心理学を学ぶ学生のみが受講者です。日常の学生同士、友人同士という関係から、養成講座では“自己をみつめ、他者を理解しようとする実習”が中心のため、一人一人が別々の考えを持った個としての関係性に変わります。相手が近い存在だからこそその気遣いや遠慮もあつての難しさ…皆さまにも体験があるのではないのでしょうか?



それがいつの間にか「今まで誰にも言ったことないけど…」と自然に語るクライアント役に対し、一生懸命に聴く他のメンバーのかかわりによってカウンセリングの意味を体得し、カウンセリング関係を築いていく受講者たち。修了期には、『産業カウンセリングを学んで、カウンセリングの可能性が広がり、学ぶことが増えた』『思い込んでいた自分像に気づき、フッと気持ちが軽くなって、これからは楽しみにになった』等、講座が始まる前と今の自分の変化について、のびのびと語る姿がそこにありました。

『自分自身が柔軟であつてこそ、クライアントを支えられる存在になる』、『知らないことはできないし、知らない言葉は聴こえない。だからもっと学ぶ必要がある』、『カウンセリングは受けた人がステップアップする機会。“産業カウンセラーを使わないと損”と思えるように、カウンセリングに対するイメージを改善したい』、『今に適應する事を支え、さらに未来への適應も支えるのが産業カウンセラー』、『産業カウンセラーってすごい!素敵な職業!』…「私が目指す産業カウンセラー像」として発表されたメッセージです。

数年後、社会人となった彼らと一緒に仕事ができることが今から楽しみとなりました。

医療大学教室長 林

2016年度札幌第2教室が閉講しました

4月6日水曜日に通学講座のトップを切って開講した第2教室でしたが、閉講は各教室の最後を締めくくる11月2日水曜日となりました。修了者は15名でした。

最終日は「目指す産業カウンセラー像」を語っていただくカリキュラムでしたが、講座の中で苦しい自己理解の経験を併せて語られた方が大半でした。

講座を通じて、自分を見つめ自分と向き合う機会となり、「曖昧さを認められるようになった」「自分の幅が広がった」とおっしゃる方もおられましたし、自分の受講動機と改めて向き合っ

て今後の仕事や活動に生かしたいと、抱負を熱く語られる方もおりました。第2教室の受講者の皆さんは、毎週水曜日には仕事を早く済ませて夜の講座にお見えになりますので、間に合うように来られるのは大変なご苦労だったと思います。

閉講式では、皆さん本当に晴れ晴れとした表情で修了証を受け取っていたのが印象的でした。1月の試験で全員合格できますようお願いしながら、お帰りになる後ろ姿を見送らせていただきました。皆さん本当にお疲れ様でした。

札幌第2教室長 十川



第一回キャリアコンサルタント養成講習開講

2016年10月23日(日)曇り空の中、日本産業カウンセラー協会 北海道支部でのキャリアコンサルタント養成講習が開講しました。

当日は今年一番の冷え込み、11月中旬の気温でしたが、11名の受講者は当日配布されたレジメ、書類を開講前には確認するなど、落ち着いた雰囲気の中、スタートしました。自己紹介では、それぞれの受講目的が熱く語られ、意欲の高さを感じました。

講義では、メモを取る音「カリカリ…」が部屋の中に響き、お一人おひとりが熱心に受講されていました。

またグループ学習では、2班に分かれ、キャリアコンサルタントまたはキャリアについての考えを活発に発言、さまざまな意見交換をする場面あり、笑顔や笑いもあり、温かい雰囲気の中、17:30までの第1回目の講習が終了しました。様々な志をもたれた方々が、次期のキャリアコンサルタント試験に挑みます!!

キャリアコンサルタント養成講習 北海道支部 第一期生への今後の期待が高まるスタートとなりました。



傾聴トレーニング開催

皆さん、「傾聴」できていますか?養成講座でこんこんと学び続けた傾聴の態度と技法…最初のうちは、なかなか普段の聴き方のクセが抜けなかった苦勞を思い出す方も多いでしょう。態度も技術も、日々の研さんあるのみ。話し手に寄り添う聴き方とは?信頼関係を結ぶのに大切な聴き手の在りようとは?懐かしい実習形式で、改めて、自分自身の傾聴力を見直してみませんか?11月19日より北見(終了)を皮切りに傾聴トレーニングが始まっておりますので、皆さんも是非参加してみませんか。

詳しくは7ページの会員研修欄に掲載しております。

会議議事録報告

2016年度 第6回幹部会議事録

平成28年9月1日(木) 18:30~19:30 出席者:12名

・支 部 長	臨時理事会・臨時総会報告～8月23日臨時理事会・8月24日臨時総会があり、定時総会の議案見直しが承認された経緯を説明。
・事 務 局	事務局長 web 会議報告～通信講座・CC養成講習募集状況の報告～全国的に30%の進捗状況。
・事業推進部	8月22日・29日に札幌市受託事業の講師研修を終了、10月以降の出講に生かす事とした。
・相談事業部	8月までの道庁事業実績報告、支部相談室10件、地方4件の実績。働く人の電話相談準備状況説明。
・養成講座部	現時点での通信応募状況、現在13名。
・CC講座部	現時点での養成講習応募状況、現在7名。会員研修部とのコラボでの2級技能検定試験対策講座については、あまり試験対策だけにはこだわらないで企画していきたい。
・会員研修部	会員研修催行中止の場合の会員さんへの徹底方法について討議。
・会 員 部	ホワイトサロン・かふえ、いずれも参加者が少ない現状を報告。
・広 報 部	すずらん9月号原稿について各部への最終のお願い。

・支 部 長	支部長会議報告～支部長会議報告(資料配布)2017年度養成講座などについて他報告。 2017年度役員改選に関して推薦委員会立ち上げについて承認された。
・事 務 局	専門性委員会会議出席報告～11月の理事会承認へ向けて作業進捗状況の確認がなされた。 通信・養成講習申込状況報告～通信は28人(未入金者がいる)、養成講習は11人で確定。 2017年度新シニア制度企画運営について～11月号にアンケートを封入する事とした。
・事業推進部	9月の研修受託が好調であった。
・相談事業部	道庁受託事業実績報告(支部2件・釧路1件・北見1件) 市町村に対する広報は、文案を事務局経由で道庁へ依頼することとした。
・養成講座部	10月10日に次年度の運営に関してCC講座部と合同会議を開催する。
・CC講座部	9月22日にキックオフミーティングがあり参加してきた。前期の反省を踏まえての内容であった。
・会員研修部	10月8日に部会を開き、次年度運営の検討を行う。
・会 員 部	会員研修部に部員として推薦したい人物がおり、正式に部員となって頂くかどうか検討された。
・広 報 部	11月18日にすずらんの発送予定。Facebookについて、現時点では道庁受託事業で活用しているが費用対効果も含め、来年度の課題としたい。
・総 務 部	会議記録の記入方法について説明。事務局お茶(ペットボトル)の使用状況について聞き取り。



第1回キャリアコンサルタント 試験の感想 その2



国家資格化して初の「キャリアコンサルタント試験」を受験し、9月号で感想を投稿くださった“Xさん”から、学科・実技とも合格したとの連絡がありました。9月号ではお伝えできなかった「面接試験」を中心に更に感想をいただきましたので、受検を検討されている皆様、参考にされてはいかがでしょうか。



国家試験化して初のCC試験は8月になりまして、私も当然のように受験しました。と言っても、ずいぶんと防衛機制が働いて、本当は逃避したかったのですが…。学科試験と、実技試験のうち「論述」については、9月号でお話した通りです。学科はハイスコアを確保できましたので、勉強方法は間違っていなかったと思います。「論述」はそれほどではなかったですけど、ギリギリでもなかったもので、勉強してきたことは無駄ではなかったかと…。

問題は、「面接」ですよ。CL役の方とのロープレ15分、続けて面接官からの質問に答えるものが5分ほどあります。面接試験の評価項目は、“態度”、“展開”、“自己評価”の3つであると事前に公表されています(※)。“態度”…これは、産業カウンセラーとして勉強してきたことを自然体でやれば良いと開き直りました。産業カウンセラーとして実戦あるいはロープレに励んできた人なら、自信を持っていいのではないのでしょうか。無理に“キャリアコン像”を作ると変になりそうですし(…;)。

“展開”…これが問題ですね。面接時間は15分ですので、うんうんお聴きしているうちに、何も展開せずに終わってしまう怖れがありました。それでは「コンサルティング」とは言えませんよね。そこで私は、学科試験対策でも勉強したような、「自己理解」、「職業理解」、その他の具体的な内容を、少しでもCL役に提案したりするようにしました。質問も、普通のカウンセリングのように気持ちに焦点を当てることに加え、現実的・具体的なことをいくつかお聞きしました。もちろん、傾聴的態度は崩さず、押しつけがましくない程度にですよ(…;)。

“自己評価”…と言っても、自分自身に対する評価ではなくて、あくまで面接についての評価です。面接官から3つほど質問がありましたので、時間切れで色々残り残したことや質問が場当たり的になってしまった反省を正直に述べ、また、次回面接があるとしたらどのように展開したいか、といったことをやや論理的に話しました。実は、ここで受験者そのものを見られているのではないかと思います。言い訳したり、自己評価が低すぎたりすると、ポイントが低いのではないかと。面接自体が時間切れになったり、クライアントの理解が得られなかったりして、動揺することもあると思いますが、ここで冷静になってふり返りができる「切り替え能力」も評価されるのではないのでしょうか。そういう私は上がり性なので全然自信なかったんですけど…(沈黙6秒)。

試験には合格できましたが、実際にCCとして活躍、あるいはCC的なスキルをカウンセリングに転用できるようになるまでには、私自身が何度も試されるのですが、随時インタビューに応じて行きたいと思います(≧▽≦)。

(Xさん)



(※)編集部注；Xさんが受験したのは、キャリア・コンサルティング協議会の試験です。日本キャリア開発協会の面接試験は、評価項目が異なります。実技試験の合格率にも大きな違いがありました。



平成28年

「働く人の電話相談室」実施報告

(平成28年9月9日～11日)

実施結果：支部相談受付件数：5件（トータル36枠中）

相談件数が少ないため特徴などを捉えることはできませんが、担当カウンセラーの感想を中心にお伝えします。

1. 前年度との違い

前年度と大きく違いは感じなかったが、60歳代からの相談があり、労働人口が高齢化していると感じた。

2. 今年度の特徴

<相談内容に関して>

- ・派遣社員の方の相談で、昼休みも取れず、昼食も食べずに働いているという内容が含まれていて、会社の労務管理の課題が垣間見えた。
- ・労働人口の高齢化とともに、働き続けるためのキャリアチェンジを迫られた苦しさを感じた。
- ・自殺願望「自分のような者が生きている価値が無いのではないのか？」と自殺願望が見受けられた深刻な相談があった。



<広報媒体に関して>

- ・札幌市東部のタウン誌経由が複数件あった。

3. その他気づいたこと

<相談件数に関して>

- ・以前には（2～3年前）多種多様なご相談を多数の方々から受けた記憶がありますが、今年は相談件数も減少した感がある。

<広報活動に関して>

- ・マスコミやSNSを活用等有効なPRが必要ではないか。（複数意見）
- ・ひきこもりや情報を得る方法がわからないなどで情報が伝わらず、SOSを出せないではないかと危機感を感じた。
- ・支部では日常的に電話相談を行っているので、この事業は積極的なPRの機会にしないとあまり意味はないのではないか。
- ・他支部の広報活動について情報収集をして効果的に行ってほしい。

<支部認定カウンセラーについて>

- ・認定カウンセラーが60名以上いるのに担当するカウンセラーが少ない。

<相談時の椅子・テーブルについて>

- ・支部相談室の椅子テーブルではなく体に合う高さのデスク用の椅子・机が良いのではないか。

<行政に望むこと>

- ・派遣先と派遣元の連絡調整があまりなされていない印象を持った。今後もこの形態が増加するので労働問題の相談窓口の充実と派遣先の労働管理の在り方等行政側の指導も望みたい。

4. 今後に向けて

- ・次年度は広報活動の予算を事業計画に盛り込み、支部全体が効果的な取り組みをしたいと考えている。
- ・支部電話相談室事業へのご協力依頼も含め参加可能なカウンセラーへの働きかけなども検討予定である。

各部からのお知らせ



Each division
Information

- 事業推進部 会員部 広報部 養成講座部 会員研修部 CC講座部 相談事業部
支部事務局 その他

支部事務局 ◆資格登録更新研修の最終ご案内

すでにご案内しておりますが、現在の資格登録更新制度では2017年4月1日が更新日となっており、更新期間内に必要ポイントを取得する必要があります。

2015年度より協会本部主催・北海道支部主催でポイントが取得できていない皆様に対しては、資格登録更新研修を実施してまいりましたが、まだ受講されていない方もおられるようなので年明けに下記の日程で実施いたします。ポイント未取得の方は、是非ご受講をお願い申し上げます。2017年3月31日時点でポイント未取得の方は退会されるとみなされます。また、2017年度4月1日からは資格登録更新制度が変更になります。詳しくは会報誌(12月号・1月号)に案内される予定となっておりますのでご参照ください。

1. 日時・定員・会場・申込締切日

	日時	定員	会場	申込締切日
第4回	2017年1月14日(土)	20名	北海道支部 会議室	2017年1月4日(水)
第5回	2017年2月11日(土)	20名	北海道支部 会議室	2017年2月1日(水)
第6回	2017年3月4日(土)	20名	北海道支部 会議室	2017年2月22日(水)

2. 講義内容(各回ともDVD視聴方式)

- 午前の部 9:30~12:30 『カウンセリングの基本に立ち返る』 上嶋 洋一先生
午後の部 13:30~16:45 『心身医学・精神医学の基礎』 高野 知樹先生
『ストレスチェックの義務化』 河野 慶三会長

3. ポイント数・受講料

- 午前の部 15ポイント ・ 午後の部 15ポイント 受講料 各4,000円
午前・午後 1日コース 30ポイント 受講料 6,000円

4. お申込方法

通常の会員研修と同様にWEBからまたは会員研修申込書をFAXにて支部事務局までお申込ください。

支部事務局 ◆次年度新シニア育成講座開講に向けて

シニア育成講座について北海道支部では本年度までは旧制度への対応を主としたDVD講座をご案内してまいりましたが、次年度からは新シニア育成講座を開催しようと考えております。受講希望の方がおられましたらまずは同封のアンケートにご協力をお願い致します。

会員部 ◆ホワイトかふえ・ホワイトサロンの参加状況報告

9月、10月と開催したホワイトサロン、参加された方は普段感じていたことや疑問、悩まれていたことなどじっくりと話す機会となり、大変すっきりとされて帰られていました。是非、会員の皆様にも参加し体験していただきたいと思えます。

行事等のお知らせ

注意

最少催行人数を設定いたしましたので、予めご了承願います。(最少催行人数設定に伴い、研修中止の際は受講料を返金させていただきます)また応募締切日が道内の講師は催行10日前・道外講師は催行14日前と変更になりました。

会員研修

【平成28年12月の研修】

●札幌市「コミュニケーションスキル教育」 **3ポイント**

日時：12月3日(土) 14:00~17:00 (3時間)
場所：かでの2・7 (1070会議室)
講師：森 伸幸(北海道医療大学准教授)
定員：40名(最少催行人数10名)
受講費用：3,000円
申込締切：11月22日(火)

●札幌市「労務管理と労働法上の処理」 **3ポイント**

③就業規則

～最近の注目すべき判例素材から学ぶ～

日時：12月6日(火) 19:00~21:00 (2時間)
場所：北海道支部会議室
講師：道幸哲也(放送大学教授)
定員：20名(最少催行人数10名)
受講費用：2,000円
申込締切：11月25日(金)

※全4回シリーズで開催します。可能な限り全講座に参加されること
が望ましいですが、皆様のご都合に合わせて参加してください。

●札幌市「傾聴トレーニング①」 **3ポイント**

日時：12月14日(水) 18:30~21:00 (2.5時間)
場所：北海道支部会議室
講師：支部実技指導者
定員：18名(最少催行人数3名)
受講費用：1,800円
申込締切：12月2日(金)

●旭川市「傾聴トレーニング」 **5ポイント**

日時：12月17日(土) 13:00~17:00 (4時間)
場所：旭川市民文化会館 第3会議室
(旭川市7条通9丁目)
講師：支部実技指導者
定員：12名(最少催行人数3名)
受講費用：3,000円
申込締切：12月7日(水)

●札幌市「傾聴トレーニング②」 **3ポイント**

日時：12月22日(木) 18:30~21:00 (2.5時間)
場所：北海道支部会議室
講師：支部実技指導者
定員：18名(最少催行人数3名)
受講費用：1,800円
申込締切：12月12日(月)

【平成29年1月の研修】

●函館市「傾聴トレーニング」 **5ポイント**

日時：1月7日(土) 13:00~17:00 (4時間)
場所：サンリフレ函館(函館市大森町2-14)
講師：支部実技指導者
定員：12名(最少催行人数3名)
受講費用：3,000円
申込締切：12月28日(水)

●帯広市「傾聴トレーニング」 **5ポイント**

日時：1月7日(土) 13:00~17:00 (4時間)
場所：とちプラザ(帯広市西4条南13丁目)
講師：支部実技指導者
定員：12名(最少催行人数3名)
受講費用：3,000円
申込締切：12月28日(水)

●札幌市「傾聴トレーニング③」 **5ポイント**

日時：1月9日(月・祝) 13:00~17:00 (4時間)
場所：北海道支部会議室
講師：支部実技指導者
定員：18名(最少催行人数3名)
受講費用：3,000円
申込締切：12月28日(水)

●札幌市「労務管理と労働法上の処理」 **3ポイント**

④雇用終了

～最近の注目すべき判例素材から学ぶ～

日時：1月10日(火) 19:00~21:00 (2時間)
場所：北海道支部会議室
講師：道幸哲也(放送大学教授)
定員：20名(最少催行人数10名)
受講費用：2,000円
申込締切：12月22日(木)

※全4回シリーズで開催します。可能な限り全講座に参加されること
が望ましいですが、皆様のご都合に合わせて参加してください。

●札幌市「傾聴トレーニング④」 **3ポイント**

日時：1月18日(水) 18:30~21:00 (2.5時間)
場所：北海道支部会議室
講師：支部実技指導者
定員：18名(最少催行人数3名)
受講費用：1,800円
申込締切：1月6日(金)

●札幌札幌市「家族療法の理論」 **3ポイント**

日時：1月22日(日) 10:00~13:00 (3時間)
場所：かでの2・7 (1050会議室)
講師：河合祐子(北海道医療大学准教授)
定員：40名(最少催行人数10名)
受講費用：3,000円
申込締切：1月12日(木)

●札幌市「TA基礎理論と再決断療法」 **5ポイント**

①

日時：1月28日(土) 10:00~17:00 (6時間)
場所：かでの2・7 (1040会議室)
講師：田中千恵子(有)ソーシャルスキル・アカデミー代表
定員：40名(最少催行人数10名)
受講費用：6,000円
申込締切：1月13日(金)

※2日間の一つの研修となりますので、出来るだけ①と②の両方を
受講して下さい。

●札幌市「TA基礎理論と再決断療法」 **5ポイント**

②

日時：1月29日(日) 10:00~17:00 (6時間)
場所：かでの2・7 (1040会議室)
講師：田中千恵子(有)ソーシャルスキル・アカデミー代表
定員：40名(最少催行人数10名)
受講費用：6,000円
申込締切：1月13日(金)

※2日間の一つの研修となりますので、出来るだけ①と②の両方を
受講して下さい。

賛助会員企業様のメンタルヘルス対策をご紹介します!

道南食品株式会社様

〒040-0013 北海道函館市千代台町14番32号
TEL 0138-51-7187

今回は、道南食品株式会社様に、賛助会員になったきっかけと、メンタルヘルス対策についてお聞きしました。



北海道サイコロキャラメル



道南食品本社

Q 御社について教えてください。

A 北海道函館市にあります、菓子製造・販売をしております、道南食品株式会社です。北海道の観光おみやげ菓子チョコレートとキャラメルを生産販売しております。安全、安心の製品を北海道にこだわって、皆様に提供させていただいております。

Q 御社が当協会の賛助会員様になられたきっかけを教えてください。

A ストレスチェック制度の施行に伴い、会社としての対応、対策などの検討する上で、よりどころとして賛助会員になりました。

Q 御社のメンタルヘルス対策について、その他人事労務関係に関して、現在あるいは今後目指している内容、困っていること、うまくいっていること等々を教えてください。

A 先日実施いたしました、ストレスチェック回答率は100%で、事前のメンタルヘルス講習で、各自が意識するようになったと理解しています。残念ながら、メンタルヘルス注意の人が10%という結果でした。現在も、従業員がより働きやすいよう環境整備の一環としてカウンセリングを導入するなどし、ストレス対策に力を入れております。今後は意識的に会社としても、対応や環境づくりをしていかなければならない状況だと感じています。

Q 当協会に「こんなサポートがあったらいい」などございましたら教えてください。

A 全般的に、メンタルヘルスに対する会社の環境づくりや、意識したほうが良いことなど具体的にうかがいたい。また、ストレスチェック要注意の方々の、個別対応の必要性、対応内容など伺いたい。

Q その他、何かメッセージがございましたらご記入ください。

A ストレスをためる側、ストレスを与えている側も、両者思いやりをもって接することが大切ではないかと感じています。

各種研修申込先

(一社)日本産業カウンセラー協会北海道支部

札幌市中央区北4条西7丁目1番地5
札幌ホワイトビル3階

電話：011-209-7000 FAX：011-209-7011



振込先

郵便振替 02700-9-1731

(一社)日本産業カウンセラー協会北海道支部

編集
後記

広報部員のつづがやき

11月初旬にも関わらず、外はもうすっかり冬景色です。本号発行の頃には一度は雪が溶けてくれればよいのですが、以前そ



のまま根雪になって、大変苦勞した事を思い出します。来年はすずらんの編集のほか、いよいよ再来年の全国研究大会準備に向けた活動が始まります。会員の皆さまと共に全国研究大会成功に向けて、広報部も邁進致します。

会員作品：ウトナイ湖